【発行：栄経営労務管理事務所】

*従業員のみなさまへ、労働法令・施策などを分かりやすくお伝えします！*

　最も多い労災事故「転倒」～予防のポイント～

　業種により労働災害件数の違いこそあるものの、**どのような業種でも、そして誰もがリスクがある労働災害が「転倒」**です。今回は、厚生労働省「令和３年　労働災害発生状況」とともに、身近なことからできる**『転倒防止のポイント』**をご紹介します。

１　令和３年「労働災害発生状況」

（１）死傷者数「業種別」　　※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除く

く。）

**【令和３年】**

**【令和２年】**

**【平成２９年】**

26,424件

14,926件

16,355件

16,425件

12,797件

4,745件

25,330件

14,790件

15,669件

15,257件

11,667件

4,874件

26,674件

15,129件

14,706件

13,881件

8,738件

4,721件

●製造業

●建設業

●陸上貨物運送事業

●小売業

●社会福祉施設

●飲食店

（２）死傷者数「事故の型別」

　事故の型別では、**特に死傷者数の最も多い事故の型である「転倒」（前年比2,743人・8.9％増、平成29年比5,362人・18.9％増）**、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」（同1,656人・8.7％増、同4,600人・28.4％増）で大きく増加した。

**転倒災害は、全体の22.5％**を占め、そのうちの60.6％が休業見込期間１か月以上となり、平均休業見込期間は 41.5日となった。

また、前年比では、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を含む「その他」（13,408人・176.0％増）が大きく増加した。

**【令和２年】**

**【令和３年】**

**【平成２９年】**

３３,６７２件

**３０,９２９件**

**２８,３１０件**

**●転倒**

21,286件

20,777件

14,020件

7,638件

7,079件

21,028件

20,977件

19,121件

13,602件

7,592件

6,863件

7,620件

20,374件

16,177件

14,529件

7,760件

7,885件

1,291件

●墜落・転落

●動作の反動・無理な動作

●はさまれ・巻き込まれ

●切れ・こすれ

●交通事故（道路）

●その他

２　転倒災害の「典型的パターン」は？

　転倒災害の典型的なパターンは、**「滑り」**、**「つまずき」**、**「踏み外し」**の３つで、いずれもちょっとした原因が大きな災害につながっています。

床が滑りやすい素材である、あるいは凍結している

床に水や油が飛散している

ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている　など

**①「滑り」の原因**

床の凹凸や段差、床に放置された荷物や商品　など

**②「つまずき」の原因**

大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業　など

**③「踏み外し」の原因**

　**４Ｓ**（よんえす）は、安全で、健康な職場づくり、そして生産性の向上をめざす活動で、**整理**(Seiri)、

**整頓**(Seiton)、**清掃**(Seiso)、**清潔**(Seiketsu)を行う事をいいます。

３　転倒防止のポイント　「４Ｓ（よんえす）」とは？

整　理（せいり）

整　頓（せいとん）

　「整頓」は、必要なものを、決められた場所に、決められた量だけ、いつでも使える状態に、容易に取り出せるようにしておくことです。

**工具・用具のみならず資材・材料を探す無駄を無くす**ことが出来ます。**安全に配慮した置き方**をすることが大事です。

「整理」は、必要なものと不要なものを区分し、不要、不急なものを取り除くことです。

要るもの、要らないものに分けるためには、何らかの判断の基準が必要になります。現場の作業方法では必要と認められていても、**その場所にその物が必要か、それだけの量が必要かなどの改善の余地はないかを検討し、よりよい方法**が見つかればそれを新しい判断の基準、すなわち作業標準として定めてゆくことが出来ます。

清　潔（せいけつ）

清　掃（せいそう）

　「清潔」は、職場や機械、用具などのゴミや汚れをきれいに取って清掃した状態を続けることと、そして**作業者自身も身体、服装、身の回りを汚れの無い状態にしておくこと**です。

　「清掃」は、ゴミ、ほこり、かす、くずを取り除き、油や溶剤など隅々まできれいに清掃し、**仕事をやりやすく、問題点が分かるよう**にすることです。

　**転倒などの災害を防ぐことも大事**なことです。機械設備にゴミやかすが付着していると製品に影響が出たり機械に不具合が発生することも懸念されます。

「４Ｓ（よんえす）」の効果！！

●職場の仕事に、**必要なものだけが置かれ、必要なものがいつも同じ場所**にあり、必要なものが汚れのない状態であり、いつ見ても職場がその状態であって作業者の身体や服装がきれいである状態を維持。

●職場を単にきれいにするという表面的なことでは無く、**職場の安全と作業者の健康を守り、**そして生産性を向上させる。

⇒転倒の原因を除去し、「滑り」「つまずき」「踏み外し」を防止！

１

●さまざまな「対策ポイント」

**①ＫＹ活動　＝　潜んでいる危険を見つける（Ｋは「危険」、Ｙは「予知」の頭文字です。）**

　ＫＹ活動は、業務を始める前に**「どんな危険が潜んでいるか」を職場で話し合い**、危ない点について合意をした上で**対策を決め、設定された行動目標や指差し呼称項目を一人一人が実践**することで、安全衛生を先取りしながら業務を進める方法です。

**忙しい時間帯などは、４Ｓ活動がおろそかになって作業通路が汚れてしまったり、作業を急ぐあまり注意力が散漫になるなどにより、転倒災害のリスクが増加**するため、過去の災害事例を基にしたＫＹ（危険予知）活動も、積極的に進めましょう。

**②転倒しにくい作業方法～あせらない　急ぐ時ほど　落ち着いて～**

**時間に余裕**を持って行動、滑りやすい場所では**小さな歩幅で歩行**、足元が見えにくい状態で作業しない　など

**③その他の対策**

作業に適した靴の着用、職場の危険マップの作成による危険情報の共有

転倒危険場所にステッカー等で注意喚起、体操による筋力維持・アップ　など

最も多い労災事故「転倒」～予防のポイント～　発行：栄経営労務管理事務所